

連合岡山

2016 春季生活闘争の取り組みまとめ

はじめに

2016 春季生活闘争は、日本経済の「デフレからの脱却」「経済好循環実現」というマクロの観点に加え、働く者の処遇改善には「底上げ・底支え」「格差是正」が不可欠として、月例賃金にこだわる取り組みの継続をめざした。とりわけ中小企業で働く仲間の処遇改善原資を確保するために、サプライチェーン全体の付加価値の循環の促進などあらゆる手段を用いて産業全体の「底上げ・底支え」「格差是正」に資する取り組みをはかり、また中小労組においてはより主体的な闘争により「大手追従・大手準拠」の構造を転換する挑戦に取り組む方針を掲げ、組織一体となった取り組みをめざした。

7 月末までの取り組み状況を踏まえ、2016 春季生活闘争の取り組みまとめを行った。

尚、この取り組みまとめは、執行委員会における確認を目途に引き続き活発な議論を進め、2017 春季生活闘争の方針議論に結びつけていく。

1. 地域ミニマム賃金の取り組み

地域ミニマム賃金の設定については、12月14日、1月21日に中小労働対策委員会を開催し、昨年実施した賃金実態調査の分析結果から今年度の設定額などについて論議した。そして、1月28日の執行委員会で、20～40歳（5歳間隔）の地域ミニマム賃金を決定した。今年の設定については、「2014年からの賃上げの継続」「賃金実態調査の第一十分位3次回帰を意識した金額設定」といった考え方と、岡山地方最低賃金も2013年から10円以上の引き上げが続いており、地域ミニマム賃金との差が縮まってきていることから賃金実態調査の数字と合わせた形で20歳、25歳、40歳の金額を見直し、第一十分位3次回帰線に近づけた金額設定とした。この取り組みについては、各種会議を通じて経営者団体や行政に伝えるとともに、マスコミ発表し、中小（地場）賃金の底上げに努めた。

賃金実態調査については、目標としていた7,000人には達しなかったが、60組合、6,162人のデータを集約することができた。よりの確な分析を行っていくためには、300人未満規模の組合から多くのデータを集約する努力が更に必要である。

また、構成組織および中小（地場）労組を対象とした「地域ミニマム賃金の取り組み」に関する学習会を開催するなど、より積極的な意識づけを行い、取り組みの活性化をはかる必要がある。

2. 春季生活闘争 開始宣言集会・学習会

1月28日、2016 春季生活闘争 開始宣言集会・学習会を開催し、連合白書を基に、取り巻く情勢や春季生活闘争方針などについて学習するとともに、開始宣言により今次交渉をスタートした。

3. 行政や経営者団体への働きかけ

3月7日に『デフレからの脱却』と『経済の好循環実現』に向けた取り組みへの協力をお願い」を岡山県経営者協会へ、また3月8日には「安心して働くことができる環境整備実現に向けた協力をお願い」を岡山労働局へ申入れ、労働を取り巻く情勢や労働者保護ルールのあり方などについて論議した。

4. なんでも労働相談

2月4～6日の3日間にわたり、2016 春季生活闘争と連動した全国一斉集中労働相談ダイヤルとして、「パート・アルバイト・派遣・契約社員などで働くみなさんのための労働相談」を実施した。さらに、6月には連合岡山ふれあいユニオン加盟の非正規労働者 34 名に対し、「2016 年度連合パート・派遣等労働者生活アンケート」を実施し、春季生活闘争や要求の策定、政策・制度立案の基礎データとして役立てた。

5. 総決起集会・デモ行進

2月28日には、岡山市役所の南の大供公園で、構成組織の組合員、組織内議員・協力議員の2,000人が参加し2016 春季生活闘争 総決起集会を開催した。その後、晴天のもと、街宣車を先頭に「底上げ・底支え」、「格差是正」を訴え、中国銀行岡山駅前支店まで約2.5kmをデモ行進した。

6. キャラバン行動・街宣行動

今次闘争を盛り上げるため、交渉が開始される前の2月3日に倉敷駅前、岡山駅前で街宣行動を実施し、世論喚起につながった。また、3月16日のヤマ場に向け3月4日に西部地協、3月7～9日の間で東部地協、3月22～24日の間で北部地協エリアにおいてキャラバン行動を実施した。

また、「クラシノソコアゲ応援団！2016 RENGU キャンペーン」と連動した街宣行動を適宜行い、「底上げ・底支え」、「格差是正」の必要性について世論喚起を行った。

7. 中小（地場）労組交流研修会

2月13日に東部・西部地協合同で、また北部地協でも2月20日に中小（地場）労組交流研修会を開催し、今年は全ての地協で交渉開始前に研修会を開催することが出来た。研修会では、

連合岡山 2016 春季生活闘争の方針と具体的な取り組みを説明するとともに、各構成組織の交渉状況等について意見交換した。

8. 交渉情報の共有化

昨年に引き続き、三年連続して政府が企業に賃上げを求め、マスコミも注目し、賃上げムードが盛り上がる中での交渉となったが、中小労組の交渉が本格化する最中、熊本県を中心とする大地震の発生や、岡山県内特有の経済情勢不安があり、金額の上げ幅は産業間、規模間においてバラツキが広がり、今年も連合本部が集計した全国の情勢とは異なる結果となった。

また、春季生活闘争期間中は、計画的に交渉状況についてマスコミ発表するとともに、適宜、春季生活闘争情報を発行し、情報の共有化に努めた。

9. 今年の特徴点

昨年 12 月から新たに始まった「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGO キャンペーン」においては、2016 春季生活闘争と連動させながら県内各地で適宜街頭演説やキャラバン行動を行い、メーデーにおいてもその周知をはかった。

2 月 23 日には岡山県議会の開会に合わせ、民主県民クラブを訪問し、「クラシノソコアゲ応援団！」の説明と特別応援団員への就任を要請し、「底上げ・底支え」、「格差是正」の必要性について共有化をはかった。

3 月にはキャラバン行動と連動して北部地協を訪問し、地協役員と自治体議員との情報共有を行った。

「地域フォーラム」の開催については、8 月 22 日「おかやま未来ホール」において開催し、行政や経営者団体、NPO 団体の代表者を交えた活発な議論を交わすことが出来た。

以上

2016 春季生活闘争 連合岡山集計結果

2016 春季生活闘争の交渉結果について、連合岡山で集計した結果以下のとおりとなった。

最終的に7月5日の集計では、賃金の妥結額を単純平均すると、定期昇給込で3,969円（ベースアップを含む賃上げ額は598円）、昨年の同時期と比べて+154円の回答となり、ベースアップの金額は昨年より下がったものの、定期昇給を含めると昨年より増額となった。

産業別		企業規模別	
製造業	4,256円(+13円)	～99人規模	3,891円(+54円)
商業流通業	4,184円(+1,157円)	100～299人規模	3,916円(-208円)
サービスホテル業	3,570円(+877円)	300～999人規模	4,069円(+928円)
交通運輸業	2,396円(+133円)	1000人～	4,668円(+1,096円)

連合岡山 2016春季生活闘争 県内情勢

連合本部発表：2016年7月5日

【要求状況と昨年同時期との比較】

連合岡山集計：2016年7月5日

業種別	集計組合		対比		昨年同時期		2016要求						対比						昨年同時期（2015年7月2日）						
	組合数	人員	組合数	人員	組合数	人員	金額			率			金額			率			金額			率			
							合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	
製造業	300未満計	48	5,425	▲ 5	▲ 203	53	5,628	8,698	3,879	4,065	4.07	1.65	1.69	▲ 172	210	▲ 1,363	0.06	0.05	▲ 0.76	8,870	3,669	5,428	4.01	1.60	2.45
	合計	61	15,094	▲ 6	2,382	67	12,712	8,609	3,916	4,002	3.96	1.64	1.65	▲ 117	296	▲ 1,324	0.03	0.06	▲ 0.72	8,726	3,620	5,326	3.93	1.58	2.37
商業流通	300未満計	4	532	0	▲ 267	4	799	7,749	2,495		3.43	1.20		▲ 2,839	223	▲ 8,579	▲ 0.79	0.31		10,588	2,272	8,579	4.22	0.89	3.38
	合計	8	2,861	1	▲ 17	7	2,878	7,704	3,037	4,893	3.31	1.22	1.95	▲ 1,507	1,009	▲ 3,395	▲ 0.24	0.46	▲ 1.35	9,211	2,028	8,288	3.55	0.76	3.30
交通運輸	300未満計	6	632	▲ 3	▲ 216	9	848	7,060	2,767	4,500	2.97	1.43	2.32	▲ 548	1,014	1,500	▲ 0.48	0.53	0.72	7,608	1,753	3,000	3.45	0.90	1.60
	合計	9	3,755	▲ 4	▲ 790	13	4,545	6,913	2,664	4,927	3.07	1.32	2.36	▲ 342	371	2,427	▲ 0.27	0.20	0.88	7,255	2,293	2,500	3.34	1.12	1.48
サービス・ホテル	300未満計	1	170	▲ 1	▲ 39	2	209	3,270	3,270		1.57	1.57		▲ 2,730	874	▲ 3,604	▲ 1.61	0.30	▲ 1.91	6,000	2,396	3,604	3.18	1.27	1.91
	合計	1	170	▲ 1	▲ 39	2	209	3,270	3,270		1.57	1.57		▲ 2,730	874	▲ 3,604	▲ 1.61	0.30	▲ 1.91	6,000	2,396	3,604	3.18	1.27	1.91
情報・出版	300未満計																								
	合計																								
金融・保険	300未満計																								
	合計																								
公務	300未満計																								
	合計																								
その他	300未満計	3	62	▲ 1	▲ 23	4	85	5,167			2.42			42			0.18			5,125			2.24		
	合計	3	62	▲ 1	▲ 23	4	85	5,167			2.42			42			0.18			5,125			2.24		
合計	300未満計	62	6,821	▲ 10	▲ 748	72	7,569	8,159	3,696	4,091	3.77	1.60	1.73	▲ 397	282	▲ 1,309	▲ 0.06	0.10	▲ 0.71	8,556	3,414	5,400	3.83	1.50	2.44
	合計	82	21,942	▲ 11	1,513	93	20,429	8,064	3,671	4,080	3.66	1.56	1.70	▲ 293	405	▲ 1,276	▲ 0.06	0.13	▲ 0.68	8,357	3,266	5,356	3.72	1.43	2.38

【回答状況と昨年同時期との比較】

業種別	2016回答							対比						昨年同時期（2015年7月2日）					
	金額			率				金額			率			金額			率		
	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	
製造業	300未満計	4,130	3,747	552	1.78	1.58	0.25	▲ 258	177	▲ 444	▲ 0.13	0.07	▲ 0.20	4,388	3,570	996	1.91	1.51	0.45
	合計	4,256	3,796	639	1.81	1.57	0.28	13	328	▲ 332	▲ 0.03	0.10	▲ 0.15	4,243	3,468	971	1.84	1.47	0.43
商業流通	300未満計	4,285	2,495	0	1.94	1.20	0.00	1,149	223		0.64	0.31		3,136	2,272	0	1.30	0.89	0.00
	合計	4,184	3,037	310	1.80	1.22	0.08	1,121	1,009	▲ 711	0.57	0.46	▲ 0.35	3,063	2,028	1,021	1.23	0.76	0.43
交通運輸	300未満計	2,376	2,352	300	1.12	1.18	0.16	306	519	▲ 250	0.07	0.23	0.10	2,070	1,833	550	1.05	0.95	0.06
	合計	2,396	1,970	485	1.17	0.97	0.51	133	332	▲ 287	▲ 0.03	0.13	0.21	2,263	1,638	772	1.20	0.84	0.30
サービス・ホテル	300未満計	3,570	3,270	300	1.72	1.57	0.14	877	827	50	0.19	0.30	▲ 0.12	2,693	2,443	250	1.53	1.27	0.26
	合計	3,570	3,270	300	1.72	1.57	0.14	877	827	50	0.19	0.30	▲ 0.12	2,693	2,443	250	1.53	1.27	0.26
情報・出版	300未満計																		
	合計																		
金融・保険	300未満計																		
	合計																		
公務	300未満計																		
	合計																		
その他	300未満計	3,667			1.75			▲ 622			▲ 0.13			4,289			1.88		
	合計	3,667			1.75			▲ 622			▲ 0.13			4,289			1.88		
合計	300未満計	3,902	3,536	523	1.73	1.51	0.24	▲ 76	197	▲ 382	▲ 0.05	0.07	▲ 0.18	3,978	3,339	905	1.78	1.44	0.42
	合計	3,969	3,460	598	1.73	1.44	0.28	154	368	▲ 333	0.03	0.12	▲ 0.14	3,815	3,092	931	1.70	1.32	0.42

★連合本部発表の「2016春季生活闘争回答集計平均賃金方式」を使用

★いずれも1組合あたりの単純平均

★昨年との集計対象組合が異なるため、金額と率の対比は整合しない